Panasonic

取扱説明書

Switch-S8iG

品番 **PN24080GK**

- お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「**安全上のご注意**」を必ずお読みください。
- いかなる場合でも、お客様で本体を分解した場合には、保証対象外となります。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 取扱説明書、保証書は下記URL よりダウンロードいただけます。
  https://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/download/index.html

パナソニックEWネットワークス株式会社
〒105-0021　東京都港区東新橋2丁目12番7号
© Panasonic Electric Works Networks Co.,Ltd. 2021
I0220−11221

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🛇 してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠警告

🛇 禁止	●交流100V以外では使用しない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●雷が発生したときは、この装置や接続ケーブルに触れない 感電の原因になるおそれがあります。 ●この装置を分解・改造しない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、はさみ込んだり、重いものをのせたり、加熱したりしない 電源コードが破損し、火災・感電の原因になるおそれがあります。 ●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●開口部やツイストペアポートから内部に金属や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所、導電性のほこり、腐食性ガス、可燃性ガスのある場所で保管・使用しない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。 ●直射日光の当たる場所や温度の高い場所で、保管・使用しない 内部の温度が上がり、火災の原因になるおそれがあります。 ●振動・衝撃の多い場所や不安定な場所で保管・使用しない 落下して、けが・故障の原因になるおそれがあります。 ●この装置を火に入れない 爆発・火災の原因になるおそれがあります。 ●ツイストペアポートに10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T以外の機器を接続しない 火災・感電・故障の原因になるおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

●故障時は電源プラグを抜く
電源を供給したまま長時間放置すると火災の原因になるおそれがあります。

●この装置を壁面に取り付ける場合は、別売の取付金具（PNA001）を使用し、本体および接続ケーブルの重みにより落下しないように確実に取り付け・設置する
けが・故障の原因になるおそれがあります。

●ツイストペアポートで手などを切らないよう注意の上取り扱う

●性能維持のために定期的にメンテナンスをする
製品の管理者を決めていただき、定期的なメンテナンスを必ず実施してください。メンテナンス時に確認が必要な項目を列挙した点検表は、当社ホームページに掲載しております。

●この装置を極めて高い信頼性が必要とされる用途に使用する場合には、安全性、信頼性の確保に万全を期するよう注意する
極めて高い信頼性が必要とされる用途（鉄道、航空、医療用等での使用のうち、通信障害による影響度が極めて高いシステム、人命に直接影響するシステム）に使用されることを意図した設計・製造はされておりません。

●経年劣化などの使用環境に起因した障害に注意する
稼働率、使用環境などの条件により異なりますが、部品の経年劣化等により、性能が低下することがあります。この装置は、設置後5年程度での交換を推奨いたします。

●この装置を使用できる環境の制限に注意する
①商用電源線と通信線を隔離してください。一般社団法人日本電気協会発行の内線規程に記載のとおり、配線と他の配線または弱電流電線、光ファイバーケーブル、金属製水管、ガス管などと隔離してください。
通信線にノイズが生じ、通信不具合の原因になるおそれがあります。
②VCCIクラスA情報技術装置については、家庭で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

落雷の影響による故障の対策についての重要なお願い

●ネットワークカメラや無線アクセスポイントなど落雷による影響を受ける可能性がある機器（特に屋外設置機器）を、この装置のツイストペアポートに接続する場合、落雷による過電流・過電圧がツイストペアケーブルを通じてこの装置に伝わり、故障の原因となることがあります。
このような機器を接続される場合、この装置のツイストペアポート側に避雷器（SPD）を設置されることを強く推奨いたします。

●落雷の影響による過電流・過電圧が、電源ポートに接続される電源やアース線からこの装置に伝わり、故障の原因となることがあります。電源やアース線から、落雷による過電流・過電圧流入のおそれがある場合は、この装置の電源ポート側に避雷器（SPD）を設置されることを推奨いたします。

● 保証書に記載の製品保証規定にもありますとおり、この装置の落雷の影響による故障の保証は、保証期間内におきましても有料とさせていただきます。

使用上のご注意

●内部の点検・診断は販売店にご依頼ください。
●商用電源は必ずこの装置の近くで、取り扱いやすい場所からお取りください。
●この装置を設置・移動する際は、電源コードを外してください。
●この装置を清掃する際は、電源コードを外してください。
●仕様限界をこえると誤動作の原因になるおそれがありますので、ご注意ください。
●この装置をマグネットで取り付ける場合は、ケーブルの重みなどで装置がずれたり落下しないことをご確認ください。
また、ケーブルを接続するときは、装置全体を押さえて接続してください。
●この装置を高所に取り付ける場合は、別売の取付金具（PNA001）を使用し、壁面に確実に固定してください。
マグネットで高所に取り付けた場合は、落下によるけがや製品破損のおそれがあります。
●マグネットに磁気カードなどを近づけないでください。
記憶内容喪失のおそれがあります。
●この装置をOAデスクに取り付けた時、取り付けたまま、ずらさないでください。塗装面によっては傷がつくおそれがあります。
●RJ45コネクタの金属端子やコネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグの金属端子に触れたり、帯電したものを近づけたりしないでください。
静電気により故障の原因となることがあります。
●コネクタに接続されたツイストペアケーブルのモジュラプラグをカーペットなどの帯電するものの上や近辺に放置しないでください。
静電気により故障の原因になることがあります。
●落下など強い衝撃を与えないでください。
故障の原因になるおそれがあります。
●周囲の温度が0～40℃の場所でお使いください。
また、以下場所での保管・使用はしないでください。
（仕様の環境条件下にて保管・使用をしてください）
－ 水などの液体がかかるおそれのある場所、湿気が多い場所
－ ほこりの多い場所、静電気障害のおそれのある場所（カーペットの上など）
－ 直射日光が当たる場所
－ 結露するような場所、仕様の環境条件を満たさない高温・低温の場所
－ 振動・衝撃が強い場所
上記条件を満足しない場合は、火災・感電・故障・誤動作の原因となることがあり、保証しかねますのでご注意ください。
●この装置を上下に重ねて置かないでください。
また、左右に並べておく場合はすき間を20mm以上設けてください。
●この装置は放熱効果をあげるためスチールデスクへの取り付けを推奨しています。
●壁面や床面に設置すると、放熱により壁材または床材が変色（変形）するおそれがあります。
●この装置に長時間身体を触れないでください。低温やけどのおそれがあります。
●LANケーブル固定用穴にツイストペアケーブルをまとめる場合は、結束バンドをご使用ください。
結束バンドでケーブルをまとめた後、無理に引っ張ったりしないでください。製品の破損の原因になるおそれがあります。
また、この装置と接続しているケーブル（8本）以上の捕縛をしないでください。
ケーブルの重みで装置がずれたり、落下するおそれがあります。
●底面のDIPスイッチの蓋を開ける時、必ずマイナスドライバ（先端の刃幅が3.0mm）を使用してください。
上記の工具を使用しない場合、製品、または工具破損のおそれがあります。

1．お客様の本取扱説明書に従わない操作に起因する損害およびこの装置の使用または使用不能に関して発生したいかなる損害（逸失利益、機会損失等を含みますがこれらに限らないものとします）もその責を一切負わないものとしますので、ご了承ください。
2．本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。
3．万一ご不審な点がございましたら、販売店までご連絡ください。

この装置は、クラスＡ機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。　ＶＣＣＩ－Ａ

1 製品概要

Switch-S8iGは8個の10/100/1000BASE-Tポートを持つスイッチングハブです。
本製品を使用することによって、小規模ネットワークの構築や追加が容易にできます。

1.1 特　徴

●ポート１～8はオートネゴシエーションに対応した10/100/1000BASE-Tポートです。
自動的に10M,100M,1000Mおよび全二重と半二重の切り替えをします。
（1000Mは全二重のみ）
●IEEE802.3az（LPI）に対応した省電力型イーサネット機能（Energy Efficient Ethernet，以下EEE）を搭載しており、リンクアップ時にデータ通信をしていない場合、自動的に省電力状態に移行し、ポートごとに電力消費を抑えることが可能です。（工場出荷時：無効）
●すべてのツイストペアポートがストレート/クロスケーブル自動判別機能を搭載しています。端末、ネットワーク機器の区別を意識せず、ストレートケーブルを用いて相互接続できます。
（ポート8のAUTO MDI/MDI-XをMANUALに設定した場合とポート1～7のAUTO MDI/MDI-XをDISABLEに設定した場合（工場出荷時）は本機能は動作しません。）
●ループ検知・遮断機能により、ループが発生した場合はポートを自動的に遮断し、ループ障害の発生を防ぐことが可能です。
●ループヒストリー機能により、本体LEDにてループの発生履歴を確認でき、ループが発生したポートの特定が可能です。
●ECOモードLED機能により、ポートLEDを消灯させることで消費電力を抑制することが可能です。
●小型・軽量設計によって、使用環境に柔軟に対応できます。
●OAデスクの側面などへ手軽に設置できます。
●LANケーブル固定用穴に結束バンドを使用することで、LANケーブルを束ねることができます。
●別売のカラーチップによりシステム系統によって色分けが可能となっています。
工場出荷時は本体と同色（マットホワイト）のカラーチップが取り付けてあります。

1.2 付属品

必ずお確かめください。内容物に不足があった場合は販売店にご連絡ください。
●マグネット（本体に装着）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　2個
●PN74001-W カラーチップ（マットホワイト）（本体に装着）　・・・・・　1個

【別売オプション】
●PNA001　　取付金具
●PN74001-R　カラーチップ（赤）
●PN74001-A　カラーチップ（青）
●PN74001-G　カラーチップ（緑）
●PN74001-H　カラーチップ（サテングレー）
●PN74001-W　カラーチップ（マットホワイト）

1.3 主な仕様

<table>
<tr><td>インターフェース</td><td>ツイストペアポート 1～8 RJ45コネクタ
伝送方式　IEEE802.3　10BASE-T
IEEE802.3u　100BASE-TX
IEEE802.3ab　1000BASE-T
省電力型イーサネット機能
IEEE802.3az（LPI）</td></tr>
<tr><td>スイッチング
仕様</td><td>ストアアンドフォワード方式
MACアドレステーブル　8Kエントリー/ユニット
アドレス自動学習・自動フィルタリング
フロー制御 :バックプレッシャー（半二重時）
:IEEE802.3x（全二重時）
バッファ　512Kバイト</td></tr>
<tr><td>電源</td><td>AC100V、50/60Hz、0.17A</td></tr>
<tr><td>消費電力</td><td>定常時最大 5.1W　最小 3.4W</td></tr>
<tr><td>動作環境</td><td>温度　0 ～ 40℃　湿度 20 ～ 90%RH（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>保管環境</td><td>温度　-20 ～ 70℃　湿度 10 ～ 90%RH（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td>外形寸法</td><td>35mm(高さ)×240mm(幅)×85mm(奥行き)(突起部は除く)</td></tr>
<tr><td>質量{重量}</td><td>580g</td></tr>
<tr><td>適合規制</td><td>一般財団法人VCCI協会クラスA情報技術装置
VCCI Council Class A</td></tr>
<tr><td>コネクタ
ピン配置</td><td>ツイスト・ペア・ポート
RJ45コネクタ　8ポート

ピン配置

ポート 1 ～ 8（1000BASE-T）
<table>
<tr><td>BI_DB+</td><td>BI_DB-</td><td>BI_DA+</td><td>BI_DA-</td><td>BI_DD+</td><td>BI_DD-</td><td>BI_DC+</td><td>BI_DC-</td></tr>
<tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>6</td><td>4</td><td>5</td><td>7</td><td>8</td></tr>
</table>
ポート 1 ～ 8（10/100BASE-TX）
<table>
<tr><td></td><td>TD+</td><td>TD-</td><td>RD+</td><td>RD-</td></tr>
<tr><td>MDI-X 時</td><td>3</td><td>6</td><td>1</td><td>2</td></tr>
<tr><td>MDI 時</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>6</td></tr>
</table></td></tr>
</table>

2 設　置

2.1 取り付け

OA デスクへの取り付け（放熱のため金属板へのマグネット取り付けを推奨します。）
裏面にマグネットが付いていますので、スチール製の OA デスクに直接取り付けてください。スチール製の OA デスク以外の壁面などへの取り付けの場合は、別売の取付金具（PNA001）をご使用ください。

ご注意：この装置を OA デスクなどに取り付けたままずらさないでください。塗装面によっては傷がつくおそれがあります。

2.2 ネットワーク接続

10BASE-T、100BASE-TX、もしくは1000BASE-T インタフェースをもつ端末とこの装置を8極8芯モジュラジャックプラグ（RJ45）付のカテゴリー5e以上の1000BASE-T対応ケーブル（ツイストペアケーブル）を使用して適切に配線してください。

2.3 LAN ケーブル固定用穴の用途

右図のように LAN ケーブル固定用穴に結束バンドを通し、LAN ケーブルをまとめることができます。
結束バンドは同梱されていませんので、お客様でご用意ください。

2.4 電源投入

この装置には電源スイッチはありません。電源コードのプラグをコンセントに差し込むだけでご使用いただけます。この装置は100V（50/60Hz）のAC電源で動作します。
通電後、この装置は動作を始め、電源LEDが点灯します。このとき全てのLEDが約3秒間点灯します（装置の初期化）。その後、工場出荷時はステータスモードで各ポートに接続されている機器と通信でき次第、そのポートのLEDが点灯し、この装置が接続機器からデータを送受信しているときは点滅します。
ステータスモードで接続機器の電源が投入されていないなど、接続機器が正常に動作していない場合は、LEDは装置の初期化後は消灯します。
ECOモードのときは常に消灯しています。

2.5 カスケード接続

複数の装置を接続して使用することをカスケード接続といいます。
この装置は、ストレート/クロスケーブル自動判別機能がありますので、どのポートにもストレートケーブルでカスケードできます。
（ただし、ポート8のAUTO MDI/MDI-XをMANUALに設定した場合とポート1～7のAUTO MDI/MDI-XをDISABLEに設定した場合は、本機能は動作しません。）

〔接続例〕

2.6 カラーチップの取り外しかた・取り付けかた

別売のカラーチップを取り付け可能となっております。

カラーチップの取り外しかた

左図のように矢印の方向に取り外してください。
※溝に爪を引っ掛けると取り外ししやすくなっています。

カラーチップの取り付けかた

左図のように矢印の方向にカチッと音がするまで差し込んでください。

3 各部の名称と機能

3.1 各部の名称と機能

電源LED（緑）
（シルク表示：POWER）
点灯：電源ON

コリジョンLED（橙）
（シルク表示：ANY COL.）
点灯：いずれかのポートでパケット衝突発生、
バックプレッシャー機能作動（半二重モード時）
または異常信号受信
ご注意：バックプレッシャー機能作動時、点灯し続ける
ことがありますが異常ではありません。

ステータス／ECOモードLED（緑）
（シルク表示：STATUS/ECO）
点灯：ステータスモードで動作します。
点滅：ECOモードで動作します。
各ポートの表示は表2を
参照してください。

GIGAモード（緑）
（シルク表示：GIGA）
点灯：GIGAモードで表示します。
各ポートの表示は表2を参照
してください。

電源コード
長さ：2m

ポート1～8のLED

LED表示切替ボタン
LED表示切替ボタンによる
表示方法を参照してください。
各モードのLEDとポート1～8の
LEDは表2のように対応します。

カラーチップ
別売のカラーチップと付け替えが可能です。

LANケーブル固定用穴
結束バンドを使用してLANケーブルを
束ねることが可能です。

スピードモードLED（緑）
（シルク表示：100M）
点灯：スピードモードで表示します。
各ポートの表示は表2を参照してください。

DUPLEXモードLED（緑）
（シルク表示：FULL）
点灯：DUPLEXモードで表示します。
各ポートの表示は表2を参照してください。

ループヒストリーモードLED（緑）
（シルク表示：LOOP HISTORY）
点灯：ループヒストリーモードで動作します。
点滅：過去3日以内にループが発生したポートあり
各ポートの表示は表2を参照してください。

3 各部の名称と機能

●DIPスイッチの設定と機能

下図のようにマイナスドライバを差し込み口に入れ、開閉を行う。
蓋の開閉には必ず先端部の刃幅が3.0mmのマイナスドライバを使用してください。

各DIPスイッチの設定、機能は表1を参照してください。

DIPスイッチ
ポート1～8の通信条件の設定と、ストレート/クロスケーブルの自動判別機能の無効/有効が設定できます。
また、ループ検知機能、EEEモードの設定ができます。
先端部の刃幅が3.0mmのマイナスドライバを使い蓋を開けることができます。

表1

	DIPスイッチの種類	スイッチの状態	動作内容
(1)	ポート1～7 Loop Det. Block Mode ENABLE/DISABLE	ENABLE (工場出荷時)	・ポート1 ～ 7のループ検知機能が有効
		DISABLE	・ポート1 ～ 7のループ検知機能が無効
(2)	ポート1～7 EEE Mode DISABLE/ENABLE	DISABLE (工場出荷時)	・ポート1 ～ 7のEEEモード(省電力型イーサネット)無効
		ENABLE	・ポート1 ～ 7のEEEモード(省電力型イーサネット)有効
(3)	ポート1～7 AUTO MDI/MDI-X DISABLE/ENABLE	DISABLE (工場出荷時)	・ポート1 ～ 7のAUTO MDI/MDI-X機能が無効 ・ポート1 ～ 7はMDI-Xとして動作
		ENABLE	・ポート1 ～ 7のAUTO MDI/MDI-X機能が有効
(4)	ポート8 AUTO MDI/MDI-X ENABLE/MANUAL	ENABLE (工場出荷時)	・ポート8のAUTO MDI/MDI-X機能が有効
		MANUAL	・ポート8のAUTO MDI/MDI-X機能が無効 ⇒(5)MDI/MDI-Xスイッチを設定してください
(5)	ポート8 MDI/MDI-X	MDI (工場出荷時)	・ポート8がMDIとして動作 ・(4)AUTO MDI/MDI-XスイッチMANUAL時に有効
		MDI-X	・ポート8がMDI-Xとして動作 ・(4)AUTO MDI/MDI-XスイッチMANUAL時に有効
(6)	ポート8 AUTO/100FULL	AUTO (工場出荷時)	・ポート8の通信条件がオートネゴシエーションで動作
		100FULL	・ポート8の通信速度を100Mbps通信モードで全二重に固定

ご注意：DIP スイッチ設定を変更した場合は、必ず電源の OFF/ON をしてください。
設定変更が正常に反映されない場合があります。

3.2 LED表示

●LED表示切替ボタンによる表示方法

シルク表示とLED

前面部にあるLED表示切替ボタンを使用して、
接続している端末との接続確認の表示（ステータスモード）、
1000Mbpsの伝送速度の表示（GIGAモード）、
100Mbpsの伝送速度の表示（スピードモード）、
全二重または半二重の伝送方式表示（DUPLEXモード）、
ループ発生した履歴があるポートの表示（ループヒストリーモード）、
全てのポートLEDを消灯（ECOモード）させることができます。

●2種類のベースモードと各モードについて

起動時のモードをベースモードといいます。
ベースモードはステータスモード（工場出荷時）とECOモードの２種類があります。
ベースモードの切替はLED表示切替ボタンを長押し（３秒間以上）することにより変更できます。
切替が正常に行われると、STATUS/ECO LED、GIGA LED、100M LED、FULL LEDの計4個のLEDが一斉点灯し、ボタンを離すとベースモードが移行します。
またGIGAモード、スピードモード、DUPLEXモード、ループヒストリーモードのいずれかに変更し、LED表示切替ボタンを1分間使用しなかった場合には、自動的にベースモード（ステータスモードあるいはECOモード）へ戻ります。
ベースモードは、電源OFFになっても保持されます。

●ループ検知・遮断機能、ループヒストリー機能について

ループが発生したポートのLEDを橙点灯でお知らせします。その時、該当ポートは自動的にポートの通信を遮断し、ループを防ぎます。（遮断中は、ポートLEDが橙点灯しますが、ループ検知フレームを送受信すると、ポートLEDは橙点滅します。）
ループが解消されると、該当ポートは60秒後に自動復旧します。

また、ループが発生中、またはループ解消後3日以内のポートがある場合には、LOOP HISTORY LEDが点滅し、お知らせします。
ループ検知・遮断機能の設定（OFF/ON）は、DIPスイッチにより切替が可能です（デフォルト設定はON）。切替が正常に行われると、LOOP HISTORY LEDが点灯し切替が完了となります。

ループヒストリーのLED表示を消去したい場合は、装置の電源をOFF/ONしてください。

●LED表示切替の遷移について

ベースモードがステータスモード（工場出荷時）の場合

切替（LED表示切替ボタン3秒長押し）

ベースモードがECOモードの場合

各モードの LED とポート１～８の LED は以下のように対応します。

表2

モード	モード表示	LED表示	ポート１～８のLED（緑）	ポート１～７のLED（橙）
ステータスモード	STATUS/ECO	点灯	点灯：端末との接続が正常 点滅：データ送受信中 消灯：端末未接続	点灯：ループ検知による遮断中 点滅：ループ検知フレーム送受信中（ポート通信遮断時） 消灯：ループ検知による遮断なし
GIGAモード	GIGA	点灯	点灯：1000Mbps でリンクが確立 消灯：100Mbps、10Mbps でリンクが確立あるいは未接続	
スピードモード	100M	点灯	点灯：100Mbps でリンクが確立ポート８で DIP スイッチにより 100Mbps 固定時 消灯：1000Mbps または 10Mbps でリンクが確立あるいは未接続	
DUPLEXモード	FULL	点灯	点灯：全二重でリンクが確立ポート８で DIP スイッチにより全二重固定時 消灯：半二重でリンクが確立あるいは未接続	
ループヒストリーモード	LOOP HISTORY	点灯	点灯：過去ループ発生あり（発生から３日間点灯） 消灯：ループ発生なし	
ECOモード	STATUS/ECO	点滅	消灯：端末との接続、未接続に関わらず、すべて消灯	

故障かな？と思ったら

故障かなと思った場合には、まず下記の項目に従って確認してください。

◆LED

電源LED（POWER）が点灯しない場合

●電源コードが外れていませんか？
確実に接続されているか確認してください。

●動作環境温度を0～40℃の場所で使用していますか？
動作環境温度の範囲内でお使いください。

ステータスモードでポートLEDが点灯しない場合

●ステータスモードに設定されていますか？
ECOモードに設定されている場合は端末の接続状況に関わらず、全て消灯します。

●ケーブルを該当するポートに正しく接続していますか？

●ケーブル類は適切なものを使用していますか？

●該当するポートに接続している端末は10BASE-T、100BASE-TX、もしくは1000BASE-T対応ですか？

●オート・ネゴシエーションで失敗している場合があります。
通信モードを示す適切な信号が得られない場合は、半二重モードで動作します。接続相手を半二重モードに切り替えてください。接続相手機器を強制全二重に設定しないでください。

ポートLEDが橙点灯した場合

●ループが発生しています。ループを解除することにより橙点灯が消えます。

ループヒストリーモード LED（LOOP HISTORY）が緑点滅した場合

●ループが発生中、またはループ解消後3日以内のポートがあることを示しています。

◆通信が遅い場合

●装置の通信速度、通信モードが正しく設定されていますか？
通信モードを示す適切な信号が得られない場合は、半二重モードで動作します。オート・ネゴシエーションの設定を再確認してください。

●この装置を接続しているネットワークの使用率が高過ぎませんか？
ネットワークからこの装置を分離してみてください。

◆通信ができない場合

●リンクアップしていますか？
EEE（省電力型イーサネット機能）の設定が「ENABLE」の場合、接続機器によっては、リンクしない場合があります。
そのときには「3 各部の名称と機能」を参考に、DIPスイッチを「DISABLE」に変更してください。（工場出荷時は無効）
なお、DIPスイッチ変更後、電源をOFF/ONしてください。

●ポートLEDが橙点灯していませんか？
ポートLEDが橙点灯している場合、そのポートはループ検知・遮断機能により、ポートを遮断しています。ポート配下のループ接続を解消後、自動復旧までの60秒間待機してください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

1.保証書について

保証書は弊社ホームページからダウンロードしていただき、必ず保証書の『お買い上げ日、販売店（会社）名』などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買上げの日より１年間です。

2.故障時の対応について

『故障かな？と思ったら』に従って調べていただき、なお異常がある場合は、お買い上げ日と下記の内容をお買上げの販売店へご連絡ください。

◆品名　Switch-S8iG　　◆品番　PN24080GK
◆製造番号（本体底面に貼付されている11桁の番号）
◆異常の状況をできるだけ具体的にお伝えください。

●保証期間中は、
保証書の規定に従い製品交換をさせていただきます。
お買い上げの販売店まで製品に保証書を添えてお申し出ください。

●保証期間が過ぎているときは、
診断結果に応じて、ご要望により有償で製品交換させていただきます。
製造終了等の理由により、製品交換をお引き受けできないことがあります。
お買い上げの販売店にご相談ください。

3.アフターサービス・製品に関するお問い合わせ

お買い上げの販売店もしくは下記の連絡先にお問い合わせください。

パナソニックEWネットワークス株式会社
TEL　03-6402-5301
FAX　03-6402-5304

4.ご購入後の技術的なお問い合わせ

■商品をご購入後の技術的なお問い合わせはフリーダイヤルをご利用ください。
IP 電話（050 番号）からはご利用いただけません。お近くの弊社各営業部にお問い合わせください。

フリーダイヤル **0120-312-712**　受付 9：30 ～ 12：00 ／ 13：00 ～ 17：00（土・日・祝日、および弊社休日を除く）

弊社ホームページによくあるご質問（FAQ）および設定例を掲載しておりますのでご活用ください。
ご不明点が解決できない場合は、ホームページのサポート内容をご確認の上、お問い合わせください。
URL:http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/support/index.html
なお、ご購入前のお問い合わせは、弊社各営業部にお願いいたします。
URL:http://panasonic.co.jp/ew/pewnw/resume/guideline/index.html